

知っ得情報

みなさん、こんにちは! お車の調子はいかがですか?

二十四節気のひとつ「雨水」。今年は2月19日がそれに当たりますが、この頃を境にして寒さが和らいでくるそうです。暦の上では春を連想させる言葉が並びますが、寒い日はまだまだ続きますので、体調管理には十分注意しましょう!

安物買いの銭失い?? クルマに合ったバッテリーを...

さて、この厳しい寒さの影響からなのか「バッテリーが弱っているみたいだから、ちょっとみてもらえるかな? だけど、バッテリーを替えてから2年しか経っていないのに...」こんな心配をする電話がかかってきました。確かに冬場の冷え込みは、バッテリーにとって大きな負担となりますので、原因としては十分考えられます。そこで実際に調べてみると、「そのクルマに合ったバッテリーを装着していない」ことが原因でバッテリーの劣化が早まった事例がありました。今回はそんなバッテリーのお話です。

バッテリーには「サイズ」や「グレード」のほかに、一般的にはあまり知られていませんが、そのクルマの仕様合った「専用バッテリー」が存在します。例えば、省燃費を実現するアイドリングストップシステムや充電制御システムを搭載したクルマがそれに該当します。

●アイドリングストップシステム

信号待ちなどでエンジンの停止・再始動を行い、燃費を向上させる一方で、短時間で充放電も繰り返すので、ほかには

ない圧倒的な「耐久性」と「高速充電性能」を併せ持ったバッテリーが必要となります。※車種によってシステムが異なりますので、該当しない場合もあります。



●充電制御システム

従来は、満充電になっても継続して充電をしていましたが、充電制御システムでは、ある一定量まで充電されると発電を停止して、エンジンへの負担を軽減することで燃費を向上させています。こちらも短時間で充放電を繰り返すので「高速充電性能」を持ったバッテリーが必要となります。



少し解りづらかったと思いますが、最新の技術を搭載したクルマほどバッテリーの存在は重要だということです。安易に価格だけを見て、ミスマッチなバッテリーに交換してしまうと、バッテリーの寿命が短くなるどころかアイドリングストップシステムなどが正常に作動しなくなる恐れもあります。もしもの時は、下記までお気軽にお問い合わせください。

JA豊橋 自動車課 自動車整備工場(本店敷地内)
TEL (0532) 25-3557 担当: 安藤